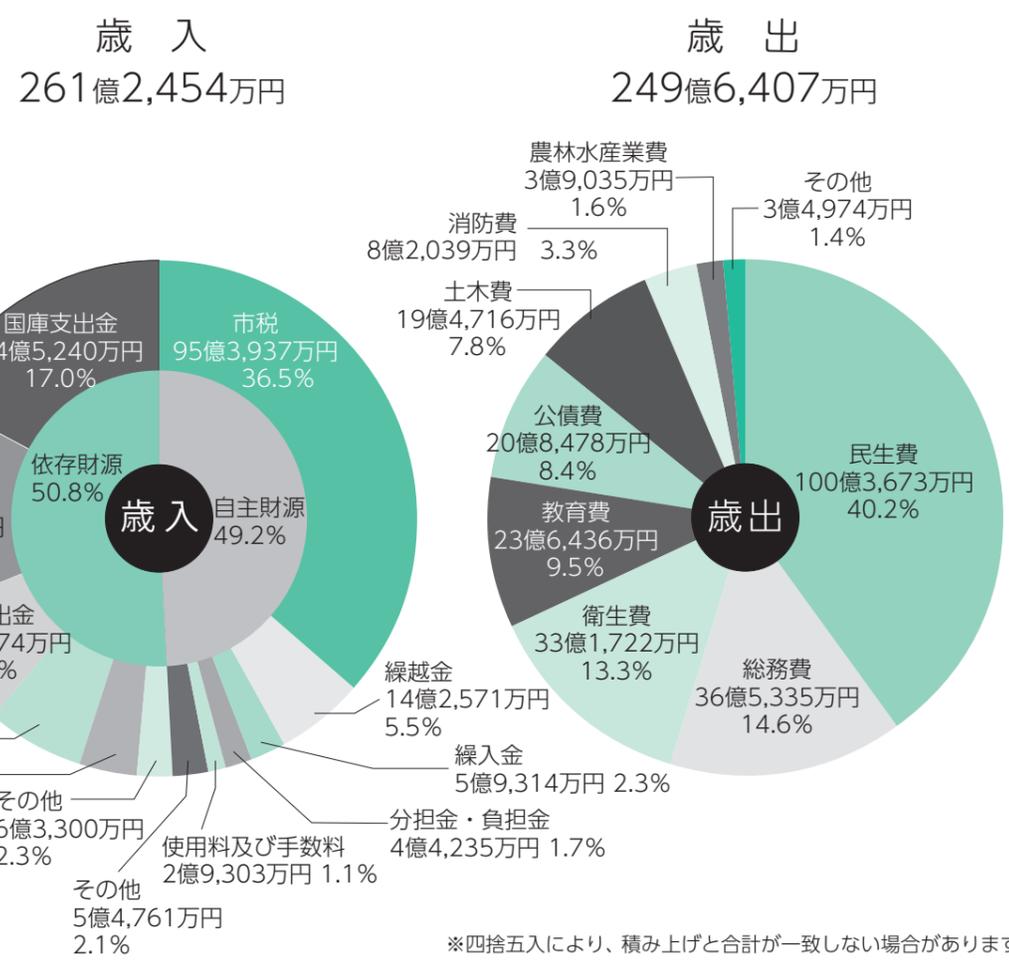


医療や福祉に係る給付等  
民生費100億円を突破

5年度 羽島市一般会計決算



会計別歳入歳出決算

会計別	歳入 (収入済額)	歳出 (支出済額)
一般会計	261億2,454万円	249億6,407万円
特別会計	国民健康保険	74億6,413万円 / 66億4,664万円
	介護保険	60億9,775万円 / 59億6,733万円
	羽島市・羽島郡二町介護認定審査会事業	2,341万円 / 2,341万円
	インター北土地区画整理事業	2,619万円 / 2,619万円
	駅北本郷土地区画整理事業	3,648万円 / 3,648万円
	後期高齢者医療	10億1,199万円 / 9億8,371万円
企業会計	病院事業	収益的収支 53億1,957万円 / 61億5,279万円 資本的収支 3億8,241万円 / 6億4,836万円
	水道事業	収益的収支 8億9,159万円 / 6億5,163万円 資本的収支 7,085万円 / 5億30万円
	下水道事業	収益的収支 15億4,992万円 / 13億1,354万円
		資本的収支 21億9,908万円 / 27億4,119万円

令和5年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が市議会で認定されました。決算状況のあらましをお知らせします。

問い合わせ先  
財務課 (内線 2491)

一般会計 歳入

歳入全体の決算額は261億2,454万円、前年度と比べて1億4,313万円、約0.5%減少しました。

歳入には、地方公共団体が自主的に収入することができ、市税や手数料などの自主財源と、国や県から交付される依存財源があります。自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保することができます。

5年度の歳入決算額は、前年度の自主財源の割合は、前年度より1.2ポイント高い49.2%となりました。これは、市税収入の増加と、新型コロナウイルス感染症関連交付金の減に伴う国庫支出金の減少によるものです。

歳出

歳出の決算額は249億6,407万円、前年度と比べて1億2,211万円、0.5%の増加となりました。

内訳は、医療や福祉に係る給付等の民生費が40.2%と最も比率が高く、約100億円を支出しています。次いで総務費が14.6%、衛生費が13.3%を占めています。

民生費は住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業の実施等により、前年度と比べて3億7,744万円増加しています。

借金の返済額である公債費は、前年度と比べて6,341万円増加しています。

市民1人当たりの負担

市民1人当たりの市税の負担は14万3,639円でした。前年度と比べて3,127円の負担増となっています。

市債残高の状況

5年度一般会計決算での市債残高(借金の残高)は、約193億円で、前年度と比べて約11億円減少しました。今後も計画的に市債残高の減少に努めます。

経常収支比率(一般会計)

経常収支比率とは、市税や地方交付税などの経常的な収入に対し、人件費や扶助費などの経常的な支出が占める割合のことです。割合が低いほど財政の弾力性があり、自治体独自の施策に充てる財源が多くなると言えます。

特別会計

特別会計のうち、国民健康保険は被保険者数の減などにより、歳出が前年度に比べて302.9万円(0.5%)減少しました。また、介護保険は、介護給付費の増などから、前年度より歳出が4億4,836万円(8.1%)増加しました。

企業会計

独立採算が原則の企業会計には、病院事業、水道事業および下水道事業があります。

